

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：34006
学校名：東白石中学校

改訂のポイント

- 小中一貫教育において策定した「目指す子ども像」の実現に向けた取組
- 生徒の表現（発表）力を育てる授業の実践

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆自信あふれる姿で巣立つ生徒の育成 ☆学習を通して自主・自律ができる生徒の育成 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 体験的な学習活動を取り入れ、少人数による話し合い活動を進め、その中で発言を学級全体へと発信することに取り組む。	【成果】 少人数で話し合い、そこで考えをまとめられる様子が見られる。そこから学級全体へと発信することができる様子が見られる。	【課題】 少人数で話し合った後の発信はできるようになったが、最初から学級へ発信を行う様子は、まだ多くは見られない。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 自分の考えをまとめさせて、その考えを表現（発言、板書など）する学習を授業で意識的に実践することに取り組む。	【成果】 自分の考えを一度まとめることで、考えたことを順序立てて整理し、表現していくことができる様子が見られる。	【課題】 個々の生徒の理解している学習内容の差により、まとめる力や表現する力にばらつきがある。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 授業の最初に本授業の学習内容のねらい、授業の最後に次授業の学習内容の紹介を行い、見通しをもたせることに取り組む。	【成果】 前年度・前授業の学習内容を思い出し、本授業の学習内容に知識を結びつけることで、学習への理解を示している様子が見られる。	【課題】 前年度・前授業の学習内容を理解していない場合、本授業の学習内容も理解することが難しい場合がある。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 「自信あふれる姿での巣立ち」をめざし、小中一貫した学習規律を通し、学ぶ意欲を高め、学習理解につなげる。		
	具体的な改善策（取組）	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の過程を通して、新たな知識が既得の知識及び技能と関連付けられ、他の学習や生活の場面でも活用できるようにする。 ○各教科で自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する課題探究的な学習を取り入れた授業実践を進める。 ○学習形態の単位を工夫し、生徒間相互の言語活動を充実させ、小集団から全体への表現活動を充実させる。 ○自己目標を設定し、その達成を適切に評価し、年間学習内容に沿い、生徒自ら計画的に学習に取り組む指導を充実させる。 ○各教科で生徒間の言語活動の場面を設定し、自ら学び、他者と学び合い、相互に深化させる指導を充実させる。 		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用 		